

2026 年 10 月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研究普及委員会 原田・藤田

JARIP 研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研究会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。なお、本研究会は日本アクチュアリー会 AI 関連調査 WG との共催となります。

敬具

記

1. 研究会の概要

題目：「AI ガバナンス体験ワークショップ：交渉型シミュレーションゲーム『笑顔の謝罪会見』」

日時：2026 年 12 月 14 日（月曜日） 開始：17:00、終了：19:00

形式：対面のみ

場所：

東京海上日動本社 常盤橋タワー30 階 Conference Room A

（お申し込みいただいた方には、後日入館案内メールをお送りします。当日は常盤橋タワーのオフィス入口（2 階 30-37 階行きゲート前）までお越しいただき、入館証発券機にメールに記載の受付番号を入力し、QR 入館証を発券した上で、QR コードをゲートにかざして、エレベーターで 30 階までお上がりください。）

常盤橋タワーへのアクセスはこちらを参考にしてください。

<https://www.tokiomarinehd.com/company/information/map.html>

講師：藤田卓氏（AKUR8 Japan 株式会社 アクチュアリアル・データサイエンティスト）
（講師略歴は次項）

概要：

近年、保険業界においても引受・査定・不正検知・顧客対応など幅広い領域で AI の活用が急速に進み、AI ガバナンスの重要性も広く認識されつつある。しかし、公平性、説明責任、透明性、責任分界といったガバナンス上の課題は、技術的な知識だけで捉えきれものではない。こうした課題は、多様な利害関係者との交渉や意思決定の過程において、具体的なかたちで立ち現れるものである。

本ワークショップでは、江間有沙氏（東京大学）および工藤郁子氏（大阪大学）を中心に制作さ

れた交渉型ロールプレイングゲーム『笑顔の謝罪会見』※を体験する。参加者は AI サービス提供企業または AI モデル開発企業の役割を担い、説明責任やサービス継続の是非などをめぐって、限られた時間の中で他の参加者と交渉しながら合意形成を行う。

ゲーム終了後には振り返りの時間を設け、公平性をはじめとする AI ガバナンスの論点について、参加者同士の議論と情報交換を通じて理解を深める。AI ガバナンスを概念としてではなく実践的に考える機会として、AI や分析に携わる方はもちろん、リスク管理・DX 推進等をご担当の方にも、ぜひご参加いただきたい。

※コンテンツのクレジット

江間有沙・工藤郁子（2026 年）『炎上体験型ロールプレイングゲーム 笑顔の謝罪会見』

ライセンス：CC BY 4.0

2. 参加費

無料

3. 参加申し込み

期日：2026 年 12 月 10 日（木）13 時

下記【専用申込フォーム】より申し込みください。

<https://jarip.org/appjarip/?a=addWorkshop>

定員は 40 名程度を予定しております。お申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

法人会員の方は参加区分を選択の際、「3 名まで」と表示があります。

4 名以上お申込みの場合は「非会員」をご選択ください。

（非会員でも参加費は無料なので支障はございません）

4. 講師略歴

藤田卓氏（AKUR8 Japan 株式会社 アクチュアリアル・データサイエンティスト）

2013 年東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了。生命保険、損害保険、再保険領域でのアクチュアリー実務を経て、2023 年よりインシュアテック領域に転じ現職。透明性の高い機械学習技術を活用し、プライシング・リザービング業務における意思決定の迅速化・円滑化を支援している。日本アクチュアリー会データサイエンス関連基礎調査部会長。日本アクチュアリー会正会員、米国アクチュアリー会準会員、CSPA、CERA。